

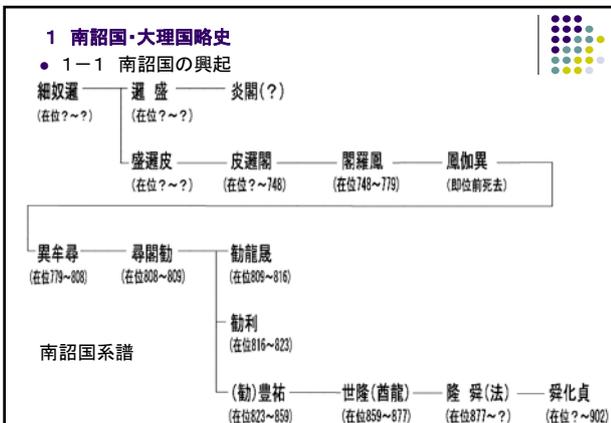


### 目次

- 1 南詔国・大理国の歴史
  - 1-1 南詔国・大理国略史
  - 1-2 南詔国後半期-大理国の思想
- 2 白族(白人)の歴史と文化
  - 2-1 白族の形成
  - 2-2 白人の文化と歴史観

### 問題提起

- 阿嵯耶観音信仰は、南詔国・大理国王室にとってどのような意味を持っているのか。
- 白族の祖先は、阿嵯耶観音信仰および南詔国・大理国の歴史を、自分たちの歴史観の中に位置づけたか。



- ### 【南詔国前半期】
- 649~687年 唐・高宗の時、南詔初代細奴邏入朝。
  - 690~710年 則天武后の頃、二代邏盛入朝
  - 743年 四代皮邏閣、雲南王に冊立。
  - 750年 五代閣羅鳳、唐朝に背き、吐蕃に臣属。
  - 794年正月 六代異牟尋、唐朝、盟約を結ぶ。

【南詔国後半期】

- 808年 7代尋閣勸即位。
- 809年 8代勸龍晟即位。
- 816年 王嵯巔、勸龍晟を弑殺。弟9代勸利を擁立。
- 829～853年 王嵯巔・10代豊祐、成都・安南を攻撃。
- 863～870年 11代世隆、交趾・成都を攻撃。
- 877年 12代隆舜即位。
- 897年 13代舜化貞即位。
- 902年 鄭買嗣帝位を篡奪。南詔国滅亡。



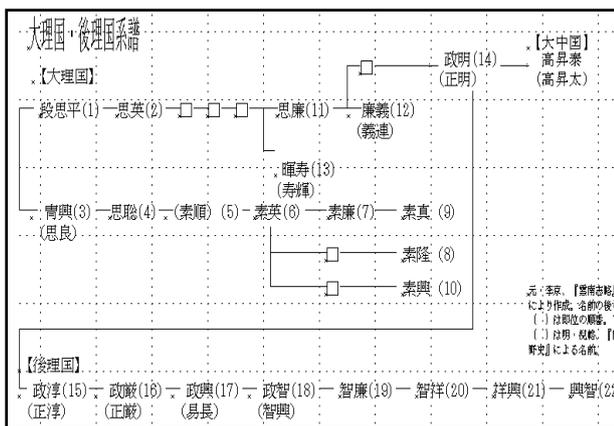
7

南詔国滅亡後から大理国へ

- 大長和国鄭氏(902～923年、3代)
- 大興天国趙氏(928年、1代)
- 大義寧国楊氏(929～937年、1代)
- 大理国前半期(937～1094年、14代)
- 大中国高氏(1094～1095年、1代)
- 大理国後半期(後理国、1096～1254年、8代)



8



1-2 南詔国後半期-大理国の思想



大理国「張勝温画梵像卷」  
 年七九頁より抜粋  
 李霖燧 一九八二

10

阿嵯耶観音信仰

『南詔図伝』

- 制作年代:  
 中興2年2月18日(唐・光化2年、西暦899年4月1日)奉勅。  
 同年3月14日(西暦899年4月27日)作成。
- 主題:  
 ①南詔国への仏教の伝来  
 ②梵僧(阿嵯耶観音)の南詔王室への授記  
 ③南詔王室の帰依とその後の王業の成就。



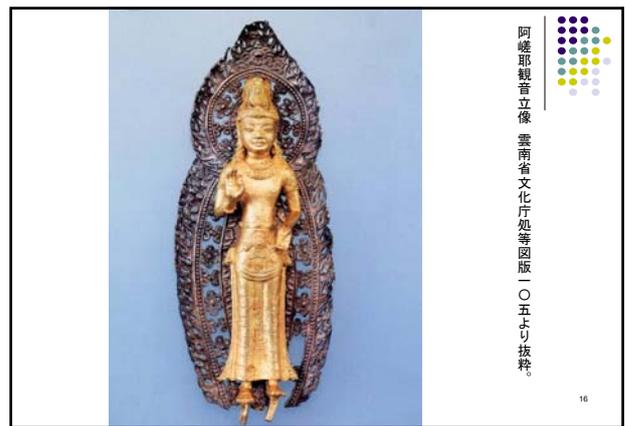
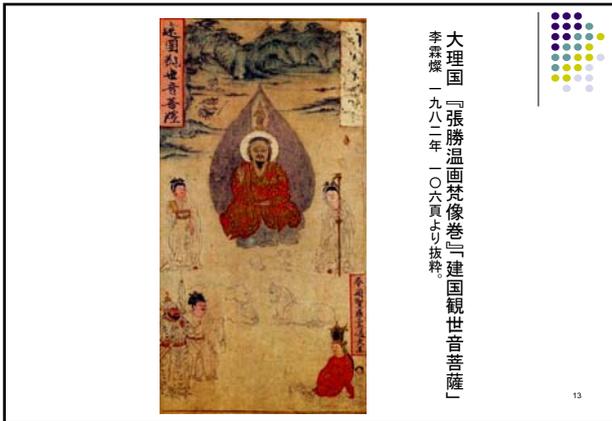
11

阿嵯耶観音信仰の継承



『南詔図伝』 李霖燧 1982年 131頁より抜粋。

12





剣川県石鐘山二号石窟 一九九九年 立石撮影。

19



剣川県石鐘山九号石窟 一九九九年 立石撮影。

20



## 2 白族(白人)の歴史と文化



### 2-1 白族の形成

- 白族  
 人口は約160万人弱、そのうち約100万人弱が大理地方に集中している[国家統計局人口統計司等・1994年、656頁及び680頁]。

自称は、パーホ(白家)、パーヅ(白子)、パーニ(白人)など。歴史上、漢語・漢文の使用に長けている。一方で、現在でも漢字で白語(ペー語)を記述する「白文」の伝統を持つ。

22



### 雲南地方、中国の統治下へ

- 大理国滅亡後、①雲南東部はモンゴル・元朝の直接統治下。②大理を中心とした地域は、大理国王室の後裔によって統治される。
- 現在の白族に連なる「白人」の名称が文献上、初めて見られるのは元朝の時代から。

24

### 漢人の大量移入

- 1368年、明朝建国。1382年、明軍による大理征服。直接統治下に置かれる。
- 明朝は雲南制圧のために、雲南全土に衛所(えいしよ)と呼ばれる軍事組織を設置。大量の漢人を移入させ、雲南社会に大きな変化を与えた。[方国瑜 2003年、151頁]。

25

### 現代白族に連なる白人の形成

- 明代、白人の居住地は次第に縮小。(雲南全体→大理を中心とした地域。
- 中国知識人からみて、白人と漢人との物質的・技術的な文化差は、小さくなる。
- 白人と漢人との差は、言語・世界観の面での違いとなる。

26

### 2-2 白人の文化と歴史観



一九九九年  
大理古城。立石撮影

27

### 歴史叙述の変遷

1. 南詔国・『南詔図伝』 南詔国の歴史
  2. 元・『紀古演説原集』 南詔国の正統性を認めつつも、「中国の中の雲南」と位置づける。
  3. 明・『白古通記』 自分たちの故国としての雲南王朝の概念が見られる。白文(ペー文)で書かれる。
  4. 清・『白国因由』 歴代雲南王朝の歴史を「白国」(白人の国)の歴史として捉えなおす。
- この後、中国王朝の思想統制が厳しくなり、白人は、自らの祖先を明代に南京よりやってきた軍人と考えるようになる。

28

### 白語と白文

#### 白語(ペー語)

- チベット・ビルマ系の言語に属していると考えられる。早い時期に漢語から分化した言語だと考える研究者もいる。[Bryan Allen 2004 ,p1.]

#### 白文

- 漢字を用いて白語を表現する表記方法。白文の始まりは南詔国から大理国時代にかけてのこと。明代になると、白文による石碑が刻まれる。現在でも、民間芸能・宗教儀礼において使用される。

29

### 白文の例 —大本曲『秦香蓮』のテキストから—

自從下京叭阿更。 都に上ってより今に至るまで、

好東貧窮買因米。 家は食べる米にさえ困っている。

聽燈京洲遭干旱。 聞けば、荊州は日照りに遭い、

本没武西點。 少しも雨が降らないとか。

30

### 白文の特徴

- ①漢字を利用して白語の音と意味とを記録する文字符号である。一部、特殊な文字もあるものの、少ない。
- ②漢語の語彙も白語による音読みで読む。
- ③白文のいくつかの語句は、白語による訓読みである。
- ④すべての白族が住む地域で通用しているわけではない。

[侯冲 2002年、123-126頁]。

31

### まとめ

- 雲南の王朝時代、雲南の人々は中国系仏教・仏教を取り入れて、かえって独自の仏教思想を作り上げ、これを自国の王権思想に結びつけた。
- 雲南地方が中国に取り込まれると、雲南社会はそれまで以上に中国の影響を受けることになった。しかし漢字をはじめとする中国文化を取り入れつつ、自らの世界観・歴史観を表現し、民族としての独自性を確立していった。

32

### 参考文献

日本語・英語

- 立石謙次 2008年、「南詔国の研究」、東海大学大学院平成20年度博士論文
- 2010年、『雲南大理白族の歴史ものがたり』—南詔国の王権伝説と白族の観音神話—、雄山閣。
- 艾磊(Bryan Allen) 2004年、『白語方言研究』(漢英対照)、雲南民族出版社。

33

中国語

- 国家統計局人口統計司等編 1994、『中国民族人口資料』(1990年人口普查数据)、中国統計出版社。
- 侯冲 2002年、『白族心史—『白古通記』研究』、雲南民族出版社。
- 方国瑜著、林超民編 2003年、『方国瑜全集』第3輯、雲南教育出版社。
- 李霖燦 1982年、『南詔大理国新資料的綜合研究』、国立故宮博物館院。
- 雲南省文化庁文物処等編著 1998年、『大理崇聖寺三塔』、文物出版社。

34

二〇一一年四月二三日 於雲南懇話会 立石謙次発表



35